

品番 LYU11 (50Hz) LYU12 (60Hz)

お客様へ

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。
 必ず、工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
 取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

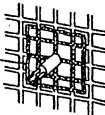
安全に関するご注意

警告

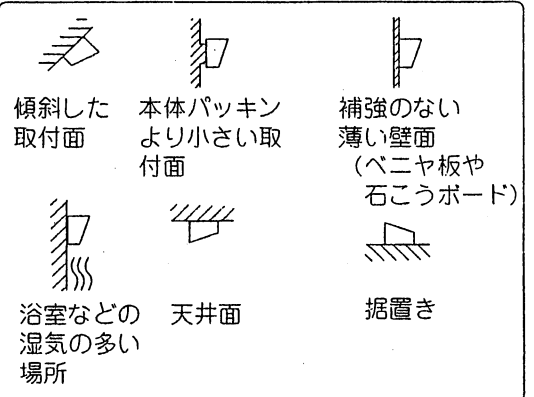
■器具の取付けは、説明書にしたがい
 確実に行ってください。
 取付けに不備があると火災・感電・落下
 によるけがの原因となります。

■タイル面など取付面に凹凸がある場
 合は、すき間を埋めてください。
 本体パッキンと取付面とのすき間を防水シ
 ール剤などで埋めてください。
 防水が不完全な場合、火災・感電の原因と
 なります。

●パッキン外周部にもシール材を
 塗りつけてください。



■こんな場所には取付けないでくだ
 さい。
 この器具は防雨型・壁面取付専用です。
 下図のような取付けは、火災・感電・落下
 によるけがの原因となります。



■器具表示の指定方向以外は取付けな
 いでください。
 指定外の取付けは、火災・落下のによるけが
 の原因となります。

■交流100ボルト以外では使用しない
 てください。
 過電圧を加えると過熱し、火災・感電の
 原因となります。



必ず守る



禁止



アース線接続

■接地工事は、電気設備の技術基準に
 従って確実に行ってください。
 接地が不完全な場合、火災・感電の原因と
 なります。

注意



禁止

■温度の高くなるものの上に取付けな
 いでください。
 ガス機器やその排気筒の上に取付けないで
 ください。火災の原因となります。

■使用地域の周波数以外のものを使用
 しないでください。
 間違って使用すると、火災の原因とな
 ります。



禁止

■調光器との併用はしないでください。
 ライトコントロール、明暗スイッチなど
 の併用はしないでください。火災の原因と
 なります。

●調光器の取りはずしが必要です。
 調光器の取りはずしには資格が必要です。
 工事店、電器店に依頼してください。

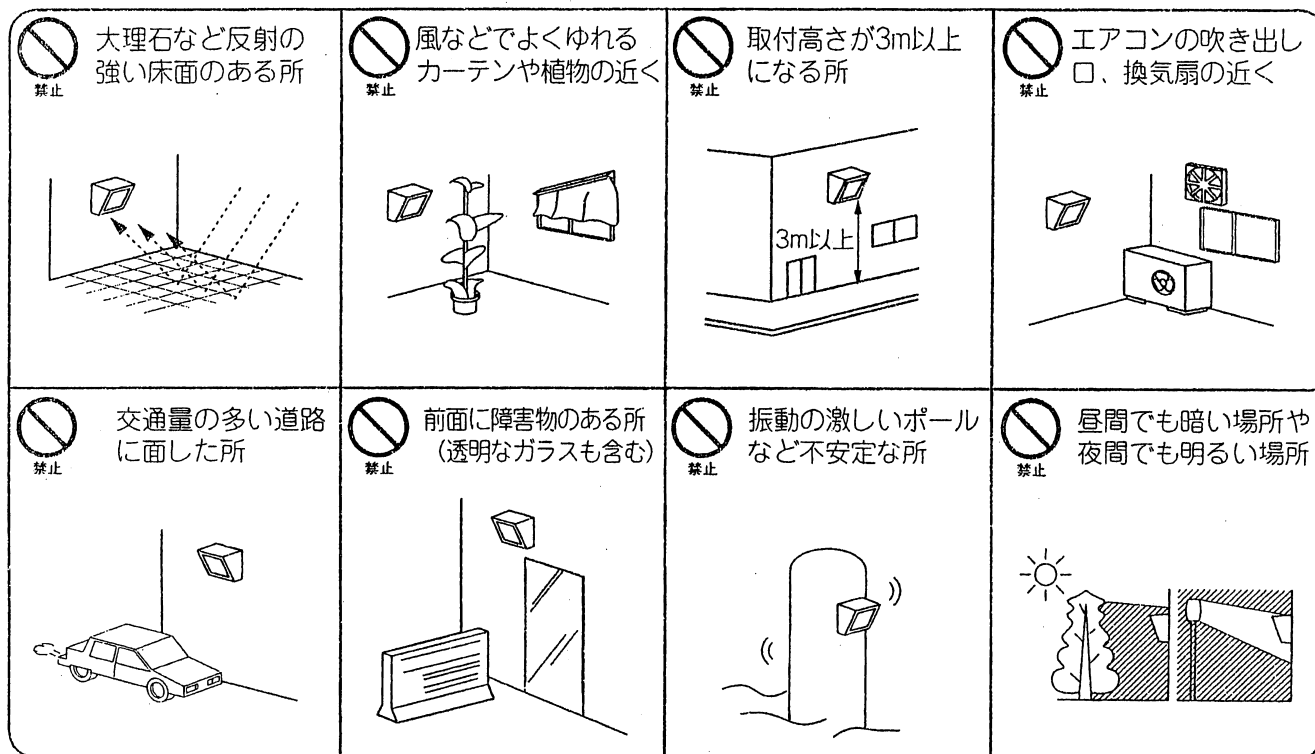
取付場所について

●熱線センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は『設定のしかた』（P4）の項目をよくご覧のうえ、設定してください。

●検知部全面に障害物がある場合（透明なガラスも含む）検知できません。

●次のような場所には取付けないでください。

このセンサは、周囲の明るさと温度変化を検知しますので、誤動作の原因となります。



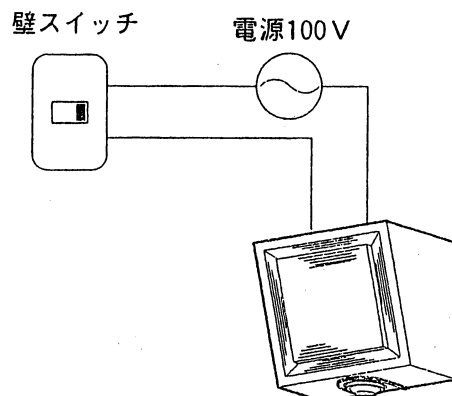
配線について

●壁スイッチは必ず併設してご使用ください。
付属されていないので別途ご用意ください。

●壁スイッチがないと…
・センサによる点灯時に異常が発生したとき、リセットできません。
・センサに関係なく強制点灯することができません。

●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチをONにしても照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。

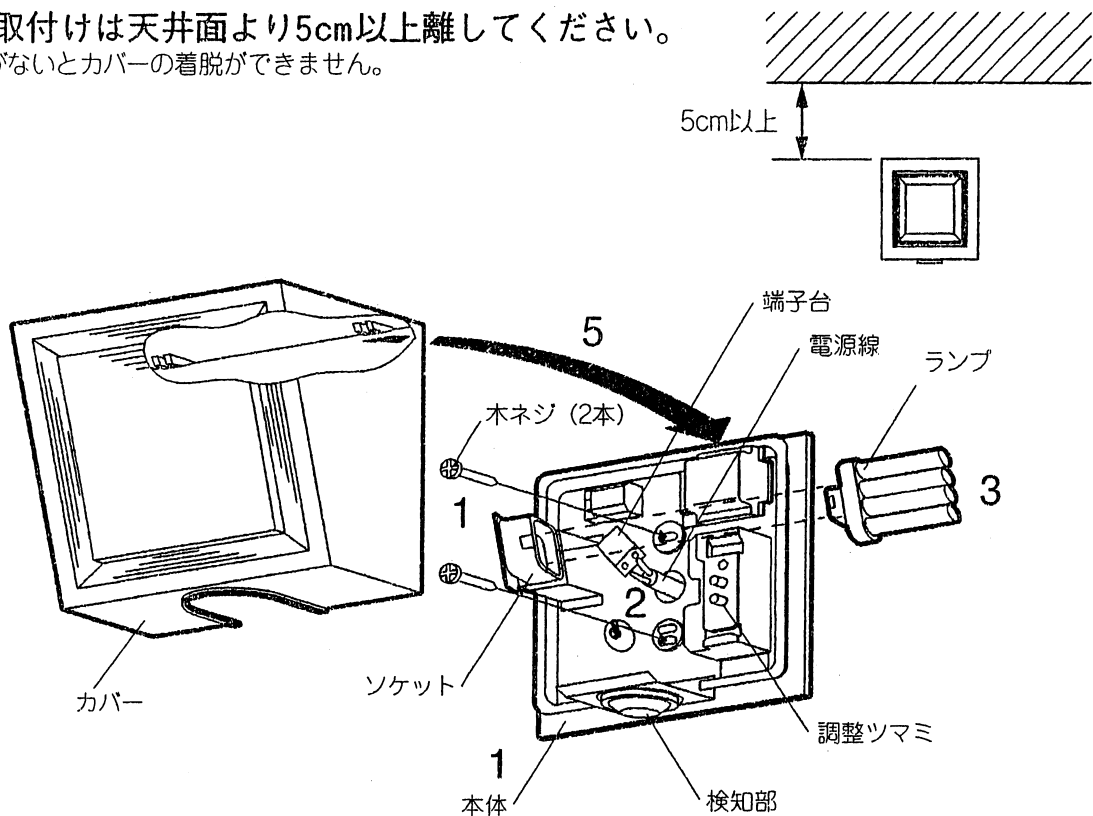
●壁スイッチは器具1台につき1個でご使用ください。
2台以上の器具と接続すると連続点灯（取扱説明書参照）に切り替えるときに不具合が生じます。



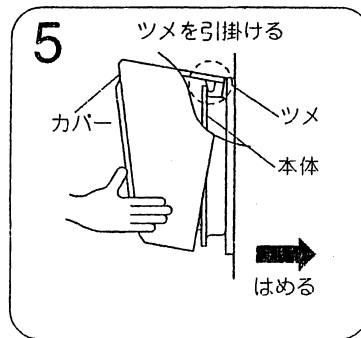
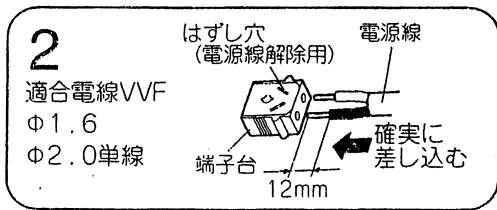
各部のなまえと取付け方

⚠️ 注意 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となります。

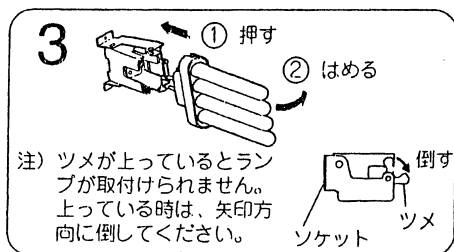
- 本体の取付けは天井面より5cm以上離してください。スペースがないとカバーの着脱ができません。



- 1** 補強材のある場所に付属の木ネジ2本で本体を取付ける
器具取付けピッチ83.5mm、66.7mm
取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。
- 2** 端子台に電源線を接続する
接続が不完全な場合、火災の原因となります。接地端子ネジからD種(第3種)接地工事を行ってください。
- 3** ソケットにランプを取付ける
取付けが不完全な場合、感電・落下によるけがの原因となります。
- 4** 検知部・調整ツマミの位置を設定する
「設定のしかた」(P4)を参照して取付場所に応じて調整してください。
- 5** ツメを本体に引っ掛けてカバーを取付ける
取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。



- 3** ソケットにランプを取付ける
取付けが不完全な場合、感電・落下によるけがの原因となります。



設定のしかた

検知範囲の設定は昼間に行うこともできます。

●壁スイッチがOFFになっていることを確認してください。

1

カバーを取外す

「各部のなまえと取付け方」(P3)を参照してカバーを取りはずしてください。

2

検知範囲を設定する

(1) 調整ツマミの設定を変更する

- ・点灯保持時間を「5秒」にする。
- ・明るさセンサを「明るめ」(右いっぱい)にする。

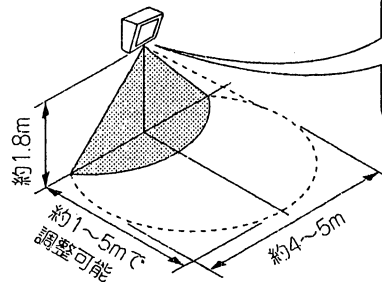
(2) 壁スイッチをONにし、検知範囲の外へ出て待ち、約30秒後に消灯することを確認する。

- ・消灯しない場合は次のような要因が考えられますので処置を施してください。
 - ・強制点灯になっている → 壁スイッチを一度OFFにしてから再びONにしてください。(検知部が赤く光っている)

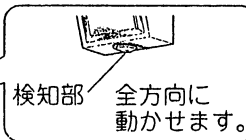
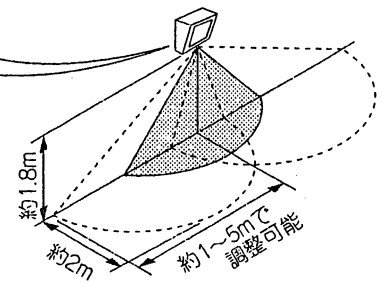
(3) 検知範囲を調整する

- ・検知部を動かして現場に合った検知範囲を設定してください。

●前後に可動させた場合



●左右に可動させた場合



検知部 全方向に動かせます。

- 注) ・本センサは人の動きなどの温度変化分を検知するため、人以外の熱源(動物、車等)が移動したときも検知する場合があります。
・検知範囲内に人がいても静止している場合は検知できません。
・検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入方向、検知物の熱量、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより多少変化します。
・器具に向かってまっすぐ接近した場合は検知しにくい場合があります。

3

一旦、壁スイッチをOFFにする

4

調整ツマミを使用状態に設定する

- ・点灯保持時間を「1分」にする
- ・明るさセンサを「暗め」にする

⇒ おすすめの設定

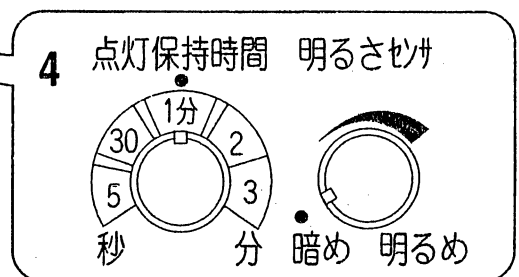
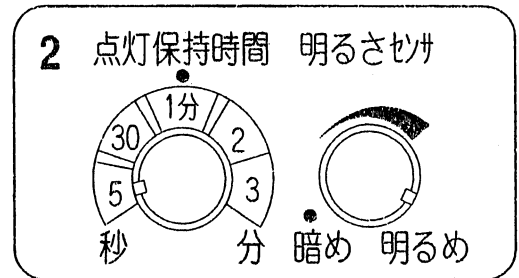
5

カバーを取付ける

- ・「各部のなまえと取付け方」(P3)を参照してカバーを取付けてください。

6

壁スイッチをONにする



取扱コード
Z008

199904A